

## 平成30年度 関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会 開催結果

- 1 開催日時 平成31年2月14日(木) 10時00分～17時00分  
平成31年2月15日(金) 8時50分～15時10分
- 2 開催場所 関東森林管理局 2階大会議室
- 3 発表課題 1日目(14日) 16課題  
2日目(15日) 9課題 計 25課題
- 4 特別講演Ⅰ 演題 「静岡森林管理署と常葉大学との連携～ニホンジカによる森林被害をどう減らしていくか(効率化、IoT化の推進)～」  
外部講師 常葉大学 社会環境学部 准教授 小杉山 晃一 氏
- 5 特別講演Ⅱ 演題 「航空レーザー計測技術を林業・森林管理に生かす方法」  
外部講師 国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所  
森林災害・被害研究拠点 チーム長 高橋 正義 氏
- 6 参加者 発表者、職員、行政機関等および一般来場者あわせて  
(※スタッフを除く2日間延べ人数) 合計 450名
- 7 審査員 審査員長 山田 茂樹(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所  
多摩森林科学園 園長)  
審査員 谷本 丈夫(宇都宮大学 名誉教授)  
福田 栄子(栃木県 林業振興協会女性部会 顧問)  
柴田 銃江(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所  
森林植生研究領域 群落動態研究室長)  
落合 博貴(一社)日本森林技術協会 技術指導役)
- 8 受賞結果 別紙のとおり
- 9 概要 発表は、国有林19課題(外部共同発表含む)、群馬県2課題、静岡県1課題、みなかみ町1課題、群馬県立農林大学校1課題、静岡県立農林大学校1課題、計25課題であった。

部門別では、林業の成長産業化を推進するための試験研究、技術開発等に関する内容の「森林技術部門」が16課題、公益重視の管理経営を推進するための保護林などの貴重な森林生態系の適切な保全と利用、獣害対策の取組等に関する内容の「森林保全部門」が7課題、国民に開かれた管理経営を推進するための森林環境教育の推進等に関する内容の「森林ふれあい部門」が2課題であった。

2日目午後の特別講演では、森林等に著しい被害を発生させているニホンジカについて、森林管理署と大学が連携した被害対策(効率化、IoT化)に関する講演、航空レーザーを用いた計測技術について、林業や森林管理に生かしていくための手法(効率化、省力化)に関する講演があり、来場者からは活発に質問が出るなど関心の高さが伺えた。



会場の様子



発表の様子



受賞者記念撮影